

JEC-2374 : 2015 正誤票-1  
酸化亜鉛形避雷器

発行日 : 2016年8月4日

項番	ページ	箇所	誤	正					
1	14	表 1-4 の(11)列の注記	番号 16, 17 は, 変圧器の値を採する。	番号 16, 17 は, 変圧器の耐電圧値を採用する。					
2	14	表 1-4 の(13)列の注記	有効接地系統用避雷器については, <b>JEC-2372</b> の値を踏襲 非有効接地系統用避雷器については, <b>JEC-2373</b> の値を踏襲 試験時間 : 30 分-1 分-30 分	番号 1~11 の非有効接地系統用避雷器については, <b>JEC-2373</b> を踏襲した部分放電試験電圧値 番号 12~17 の有効接地系統用避雷器については, <b>JEC-2372</b> を踏襲した耐電圧値 試験時間 : 30 分間-1 分間-30 分間					
3	16	表 2 の “漏れ電流・部分放電試験”備考の 4 行目	タンク形避雷器の部分放電試験は, <b>10.6.12</b> により実施	タンク形避雷器の内部要素を取り除いた絶縁容器の部分放電試験は, <b>10.6.12</b> により実施					
4	42	<b>10.6.4 b)</b> 気密試験 <b>4)</b> 合否の判定	ガス漏れ量が重量比率で年間 1 wt%以下	ガス漏れ量が年間 0.5 %以下。ただし, ルーチン試験では年間 1 %以下とする。					
5	42	<b>10.6.6</b>	“漏れ電流試験”の用語2ヶ所	“漏れ電流・部分放電試験”					
6	42	<b>10.6.12 C)</b> 商用周波耐電圧試験	3.3~154 kV 非有効接地系統用の避雷器は, 1 分間の短時間商用周波耐電圧試験を実施する。	3.3~154 kV 非有効接地系統用の避雷器は, 1 分間の短時間商用周波耐電圧試験 (部分放電の検証は不要) と, 長時間試験電圧での部分放電試験を実施する。					
7	43	表 22	絶縁抵抗及び漏れ電流試験	絶縁抵抗及び漏れ電流・部分放電試験					
8	51	表 B.1 の 3 列目	開閉インパルスの 1.25 倍の値	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">低減した相間開閉インパルスの 1.25 倍の値</td> <td>450 <sup>c)</sup></td> </tr> <tr> <td>550 <sup>c)</sup></td> </tr> <tr> <td>750 <sup>c)</sup></td> </tr> <tr> <td>1050 <sup>c)</sup></td> </tr> </table>	低減した相間開閉インパルスの 1.25 倍の値	450 <sup>c)</sup>	550 <sup>c)</sup>	750 <sup>c)</sup>	1050 <sup>c)</sup>
低減した相間開閉インパルスの 1.25 倍の値	450 <sup>c)</sup>								
	550 <sup>c)</sup>								
	750 <sup>c)</sup>								
	1050 <sup>c)</sup>								